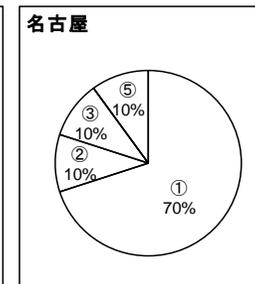
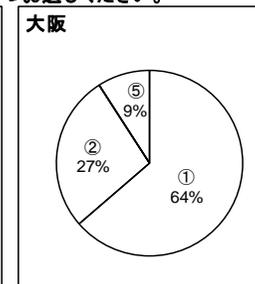
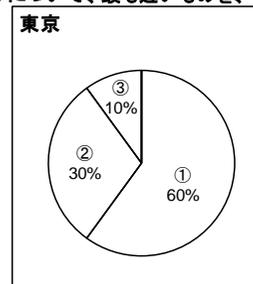


セミナーへのご参加、そしてアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

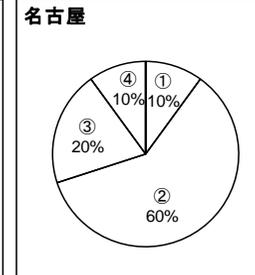
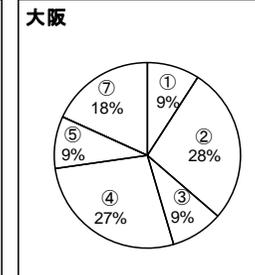
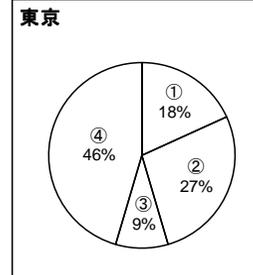
Q1. 金融は多様化し、株や債券など、伝統資産以外の手法を用いた金融の存在が大きくなっています。御社の取り組みについて、最も近いものを、一つお選びください。

(%)	東京	大阪	名古屋	合計
① 既存の枠組みにとらわれず、広く投資を行っていきたい、または既にそのように行っている。	6名	7名	7名	20
② 広く投資機会を活用したいが、組織の説得など様々な制約で困難である。	3名	3名	1名	7
③ 興味はあるものの、どのようにアプローチしてよいかわからない。	1名	0名	1名	2
④ 伝統資産のみで満足している。	0名	0名	0名	0
⑤ 無回答	0名	1名	1名	2
	10	11	10	31



Q2. 「リスクアペタイトフレームワーク」とは、リスクテイクの対象(意図的に取るリスク)と、リスクマネージの対象(管理すべきリスク)とを明確にする実践的な方法です。このようなリスクの考え方について、最も近いものを、一つだけお選びください。

	東京	大阪	名古屋	合計
① 以前からこのような考え方をしている。	2	1	1	4
② 活用していききたい。	3	3	6	12
③ 活用していききたい。既存のポートフォリオの見直しになりそうだ。	1	1	2	4
④ 活用していききたいが、具体的な取り組み方がわからない。	5	3	1	9
⑤ 労力を考えると導入は難しい。	0	1	0	1
⑥ (あまり)良い方法だとは思わない。	0	0	0	0
⑦ 無回答	0	2	0	0
合計	11	11	10	32

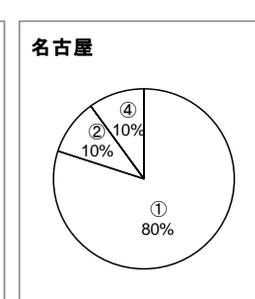
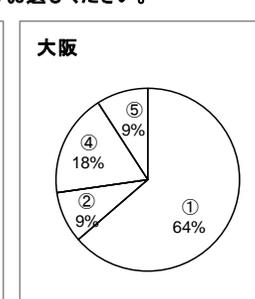
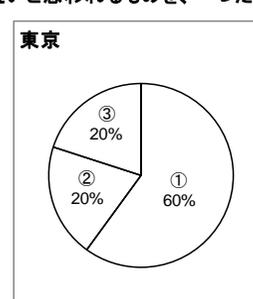


【複数回答】

東京:①②...1名

Q3. 日本の産業の明るい未来にとって、確定給付企業年金は、どのような位置づけにすべきとお考えでしょうか。一番近いと思われるものを、一つだけお選びください。

	東京	大阪	名古屋	合計
① 日本産業の国際競争力は、製品・サービスの質の高さに依存する。その質を維持するためには、雇用の質が重要となることから、安定雇用の柱として、改めて、確定給付企業年金は戦略的に重要なものとして再認知されるべき。	6	7	8	21
② 確かに、安定雇用は重要だが、確定給付企業年金は、企業の財務的不確実性を大きくしてしまうので、確定拠出年金等への移行を通じた相対的な縮小は不可避。	2	1	1	3
③ グローバル競争に勝ち抜くためには、確定給付企業年金は、日本企業の人事制度として不要である。	2	0	0	3
④ その他	0	2	1	5
⑤ 無回答	0	1	0	0
合計	10	11	10	10



【その他回答】

大阪:リスク分担型で、安定雇用と、企業財務への影響のバランスを図った。
名古屋:企業のひとつの福利厚生